

## 5 死 産

### (1) 死産数及び死産率

死産数は399胎で前年の464胎より65胎減少し、死産率（出産千対）は22.9で、前年の26.2を3.3下回った。

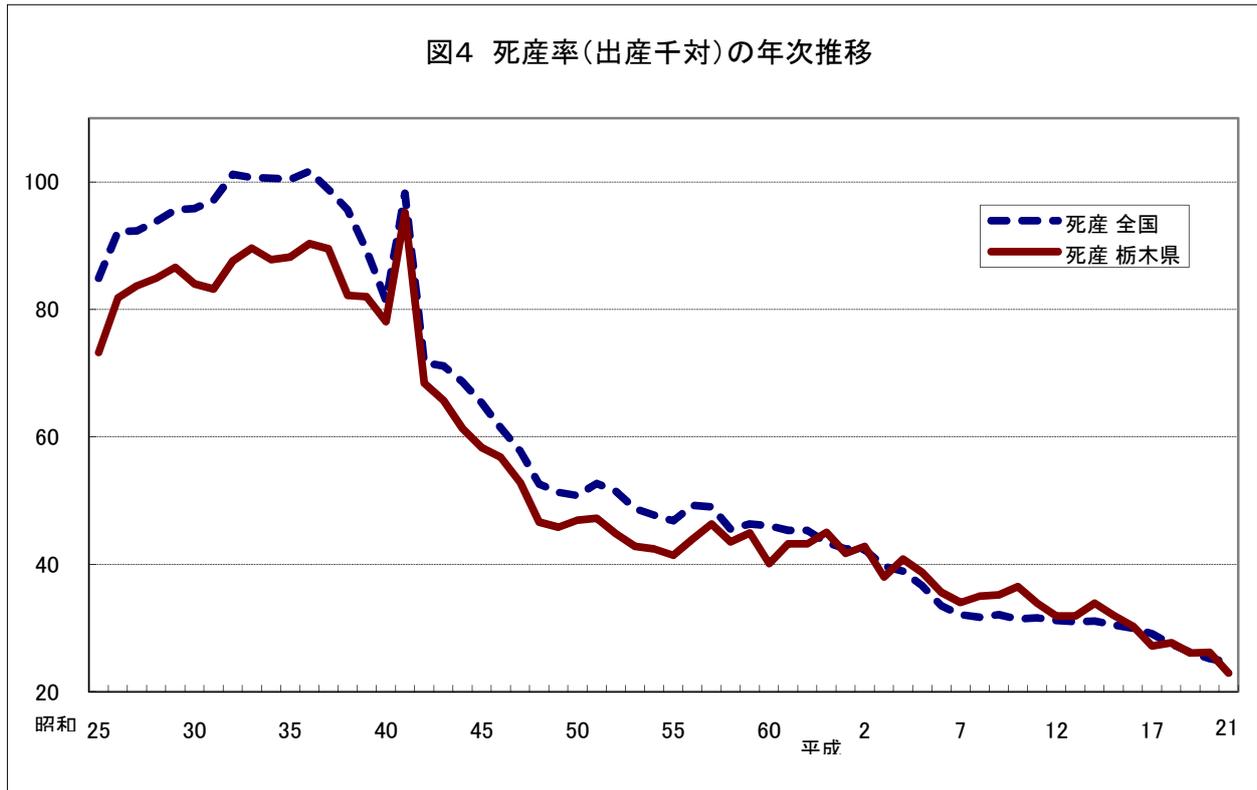
死産率を年次推移でみると、昭和41年の95.2をピークに減少を続け、本年は過去最低となった。

### (2) 都道府県別にみた死産率

都道府県別に死産率をみると、本県の22.9は全国で34位であり、全国の24.6より1.7下回った。

死産率の最も高い都道府県は沖縄県の33.5で、次いで宮崎県の33.4となっている。

また、最も低い都道府県は京都府の20.1で、次いで岐阜県の20.2となっている。



## 6 婚 姻

### (1) 婚姻数及び婚姻率

婚姻数は10,687組で前年の11,198組より511組減少し、婚姻率（人口千対）は5.4で、前年の5.7を0.3下回った。

婚姻率を年次推移でみると、昭和48年の9.8をピークに減少を続け、昭和62～平成元年に過去最低となる5.6が続きその後は微増したが、本年は過去最低となった。

### (2) 都道府県別にみた婚姻率

都道府県別に婚姻率をみると、本県の5.4は全国で13位であり、全国の5.6を0.2下回った。

婚姻率の最も高い都道府県は東京都の7.2で、次いで沖縄県の6.5となっている。

また、最も低い都道府県は秋田県の4.0で、次いで高知県の4.3となっている。

